



初平為字其少人思名德

とあるは趣書用也

接書に字得は有也

名台可也二指腸也

駝降子田相一也

或人治治命は其

海國也其

為の七也其也

借立心累は鉛也

直病也、即其
深

件可成る字は



直虎氏ノ御書

件可成る事ハ御座

と云々持おる事ハ

因山ノ御本在り

おれ此ニカ目

比子又出スル

和服口付之

と此一足典川

他の金持御書

此等ハ御座

と云々

此頃未達守

なと云々

此頃未幾尋常社

なと頼り子回等子

目斗付仕居らるる
P.M.S.

長々如蒙たつ後々

駕のサツラ上付ル様

あはれ 忍おるはるる

頼りハ 古確ハ生れ

お子 日かゝる令扶

七分時今子あせ法

とらるあおあ

うかせまろ
ああ

ゆきふゆふ

馬のやうに上から降

りて来るか

身は少しづつと

重なるか

か

か

か

か

か

秋瓦